

2024年度 シラバス

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔道整復学各論Ⅲ	講義	2	前期	2	持永 光信

授業概要	上肢軟部組織損傷の発生機序、症状、固定法、後療法など基礎に基づいて学ぶ。
到達目標	上肢軟部組織損傷の発生機序から後療法までの基礎を学び、現場で使える知識を習得する。
成績評価	期末試験(学科試験)で評価する。
実務経験	整骨院及び整形外科での勤務を経て、5年間の女子ソフトボールチームの常勤トレーナーとなる。トレーナーとしての臨床症例を交えて知識と技術を伝える。

前期	講義内容
1	肩関節部の損傷(機能と解剖)、 肩関節の軟部組織損傷①(腱板損傷、上腕二頭筋長頭腱損傷)
2	肩関節の軟部組織損傷②(ベネット損傷、SLAP損傷、肩峰下インピンジメント症候群)
3	肩関節の軟部組織損傷③(リトルリーガー肩、動揺性肩関節、末梢神経障害、五十肩)
4	上腕部の損傷(機能と解剖)、上腕部の軟部組織損傷(橈骨・尺骨神経損傷)、 肘関節の損傷(機能と解剖)
5	肘関節の軟部組織損傷①(側副靭帯損傷、野球肘)
6	肘関節の軟部組織損傷②(テニス肘、パンナー病、変形性肘関節症)
7	前腕部の損傷(機能と解剖)、前腕部の軟部組織損傷①(前腕コンパートメント症候群)
8	前腕部の軟部組織損傷②(腱交叉症候群、正中神経麻痺)
9	前腕部の軟部組織損傷③(橈骨神経麻痺)
10	前腕部の軟部組織損傷④(尺骨神経麻痺)
11	手関節部の損傷(機能と解剖)、 手関節部の軟部組織損傷①(TFCC損傷、ド・ケルバン病)
12	手関節部の軟部組織損傷②(末梢神経障害、キーンベック病、マーデルング変形)
13	手部・指部の損傷(機能と解剖)、 手部・指部の軟部組織損傷①(腱・靭帯の損傷①)
14	手部・指部の軟部組織損傷②(腱・靭帯の損傷②、手指部の変形疾患と変形)
15	期末試験
16	解答解説

使用教材	柔道整復学・理論編(南江堂)
------	----------------

2024年度 シラバス

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔道整復学各論Ⅲ	講義	2	中期	2	持永 光信

授業概要	下肢軟部組織損傷の発生機序、症状、固定法、後療法など基礎に基づいて学ぶ。
到達目標	下肢軟部組織損傷の発生機序から後療法までの基礎を学び、現場で使える知識を習得する。
成績評価	期末試験(学科試験)で評価する。
実務経験	整骨院及び整形外科での勤務を経て、5年間の女子ソフトボールチームの常勤トレーナーとなる。トレーナーとしての臨床症例を交えて知識と技術を伝える。

中期	講義内容
1	股関節部の損傷(解剖と機能)、 股関節の軟部組織損傷①(鼠径部痛症候群、股関節唇損傷)
2	股関節の軟部組織損傷②(弾発股、梨状筋症候群、その他) 注意すべき疾患①(乳児期・思春期にみられる疾患)
3	注意すべき疾患②(大腿骨頭壊死性、変形性股関節症)
4	大腿部の損傷(解剖と機能)、大腿部の軟部組織損傷(大腿部打撲、大腿部の肉離れ)、 注意すべき疾患(大腿部骨化性筋炎)
5	膝関節部の損傷(解剖と機能)、膝関節部の軟部組織損傷①(半月板損傷、靭帯損傷)
6	膝関節部の軟部組織損傷②(発育期の膝関節障害、腸脛靭帯炎、鷲足炎)
7	膝関節部の軟部組織損傷③(膝蓋大腿関節障害、膝周囲の関節包・滑液包の異常)
8	膝関節部の軟部組織損傷④(神経の障害)、 注意すべき疾患(青壮年期・中高年にみられる疾患)
9	下腿部の損傷(解剖と機能)、 下腿部の軟部組織損傷①(アキレス腱炎、アキレス腱周囲炎、アキレス腱断裂)
10	下腿部の軟部組織損傷②(下腿三頭筋の肉離れ、下腿部のスポーツ障害)、 注意すべき疾患(コンパートメント症候群、下腿感染症、下腿骨腫瘍、下肢血管障害)
11	足関節部の損傷(解剖と機能)、足関節部の軟部組織損傷①(足関節捻挫)
12	足関節部の軟部組織損傷②(足関節捻挫の類症鑑別、注意すべき疾患)
13	足・趾部の損傷(解剖と機能)、足根部の脱臼と軟部組織損傷 (横足根関節損傷、足根中足関節損傷、扁平足障害)
14	足趾部の軟部組織損傷(中足部から後足部・前足部の有痛性疾患)、 注意すべき疾患
15	期末試験
16	解答解説

使用教材	柔道整復学・理論編(南江堂)
------	----------------